

# トマトハモグリバエ

## 発生条件

天敵の寄生蜂によって発生密度が低く抑えられているが、農薬散布によって寄生蜂を殺してしまうとハモグリバエの発生が増加する。



### 幼虫による被害

葉の表面に不規則な白いすじ模様の食痕を残す。多発すると光合成が阻害されて収量が減少する。



### 幼虫

黄色のウジで、葉に潜ったまま葉肉を食害する。老熟すると体長約3mmになる。



### 成虫

体長2mm。近縁のナスハモグリバエやマメハモグリバエとよく似ており、肉眼では識別できない。